

CASIO

LEXMARK™ X925de
簡易操作マニュアル

2014年11月

Ver: 1.02

X925deは両面自動原稿フィーダー(ADF)を標準装備。



◆複数ページのコピーやスキャンングの場合、ADFを使用することで大幅に手間を省くことができます。

・最大セット枚数: 100枚(普通紙※注)

・対応用紙サイズ: A5～A3に対応

※注: 普通紙(重量64g/m²～120g/m²)



◆小さいサイズの内紙(ハガキ・写真)やOHP、薄い紙等は原稿台にてコピー・スキャンします。

わかりやすい10.2inchカラータッチパネルで簡単設定。



※タッチパネルの表示内容は設置時の初期設定により異なります。



<よく使う機能>

- ①コピー機能ボタン
- ②FAX機能ボタン
- ③E-mail機能ボタン
(スキャンしたデータをE-mailで送信)
- ④USBドライブ機能
(USBメモリへデータ格納や格納データの印刷)
- ⑤ネットワークスキャン機能
(スキャンしたデータを指定のパソコンへ格納)

※USBメモリを本体から抜くと⑤のUSBアイコンは表示されません。

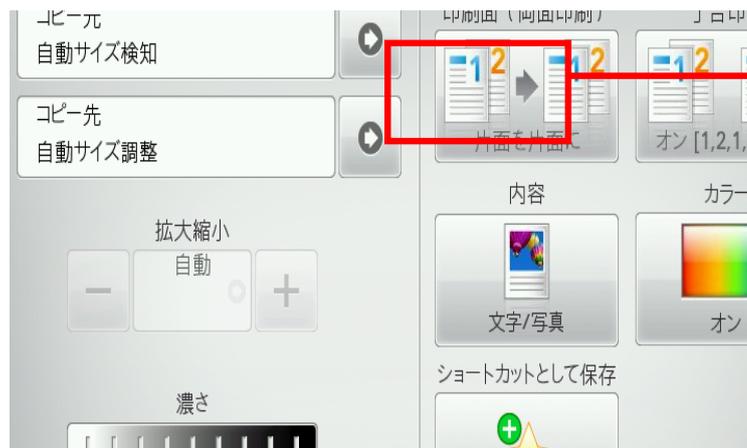
X925de 簡易操作マニュアル

【コピー編】





- ①コピー元用紙サイズの設定
- ②コピー先用紙サイズの設定
- ③両面印刷モードの選択 ⇒4ページ詳細説明
- ④丁合(部単位)印刷モードの選択 ⇒5ページ詳細説明
- ⑤印刷モードの設定 ⇒6ページ詳細説明
- ⑥カラー・モノクロモードの設定 ⇒7ページ詳細説明
- ⑦濃度調整レバー
- ⑧コピー枚数の設定
- ⑨本体メニュー画面へ戻る
- ⑩印刷詳細オプション ⇒8ページ詳細説明
- ⑪コピー実行ボタン



①「コピー」詳細画面の「印刷面(両面印刷)」を選択

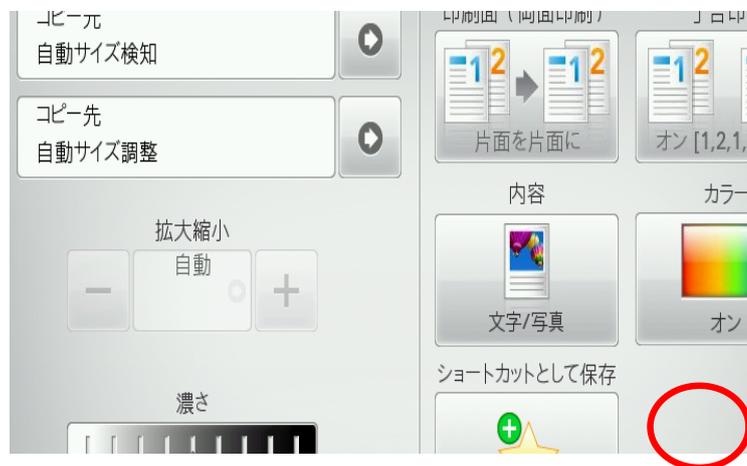


②コピー原稿、コピー結果に合わせ選択

- 「片面を片面に」(初期値)
- 「片面を両面に」
- 「両面を片面に」
- 「両面を両面に」

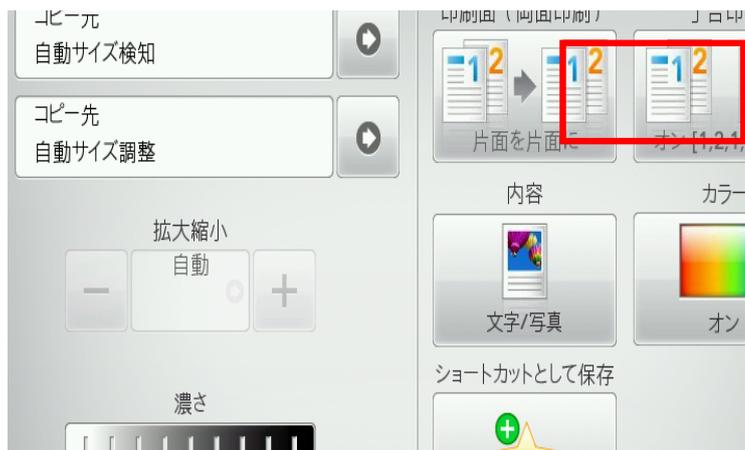
該当の項目を選択

チェックボタンをタッチしてコピー初期画面へ

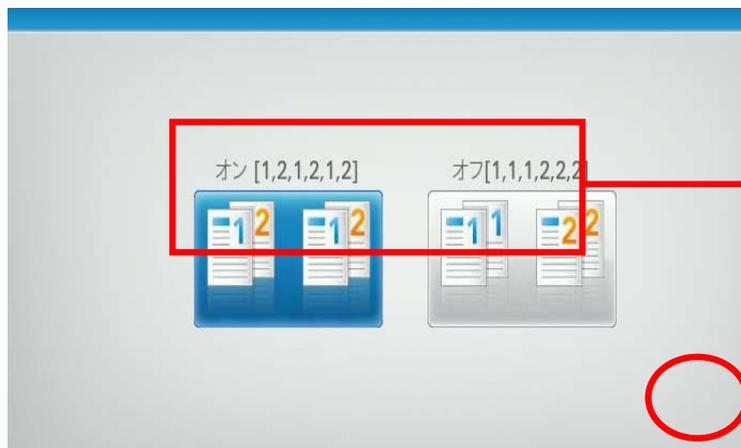


「コピー開始」で実行

丁合(部単位)コピー



①「コピー」詳細画面の
「丁合印刷」を選択



②コピー原稿、コピー結果に
合わせ選択

「オン[1,2,1,2,1,2]」
(初期値)

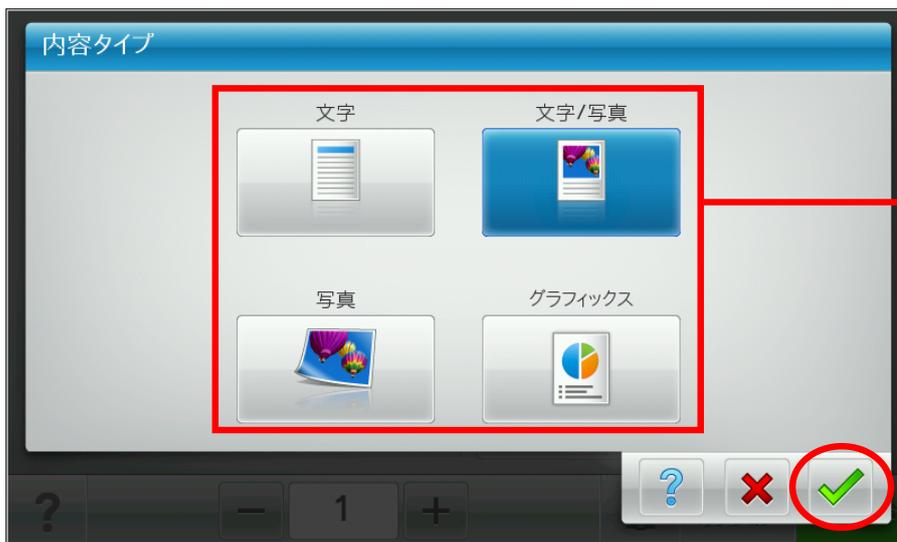
「オフ[1,1,1,2,2,2]」

該当の項目を選択

チェックボタンをタッチ



「コピー開始」で実行



【内容タイプ】

コピーする内容のタイプを選択

チェックボタンをタッチ



【内容のソース】

コピー原稿の種類を選択 (近いもの)

チェックボタンをタッチ

コピーのカラー/モノクロの切り替え設定



《コピー原稿のカラー/モノクロを自動認識》

→コスト優先モード

コピー原稿: カラー⇒コピー結果カラー

コピー原稿: モノクロ⇒コピー結果モノクロ



《すべてカラーモードでコピー》

→スピード優先モード

コピー原稿: カラー⇒コピー結果カラー

コピー原稿: モノクロ⇒コピー結果モノクロ※

※本体のモードはカラーモードのためカラードラムも消費いたします。



《すべてモノクロモードでコピー》

コピー原稿: カラー⇒コピー結果モノクロ

コピー原稿: モノクロ⇒コピー結果モノクロ

コピー結果に対する詳細の設定を選択できます

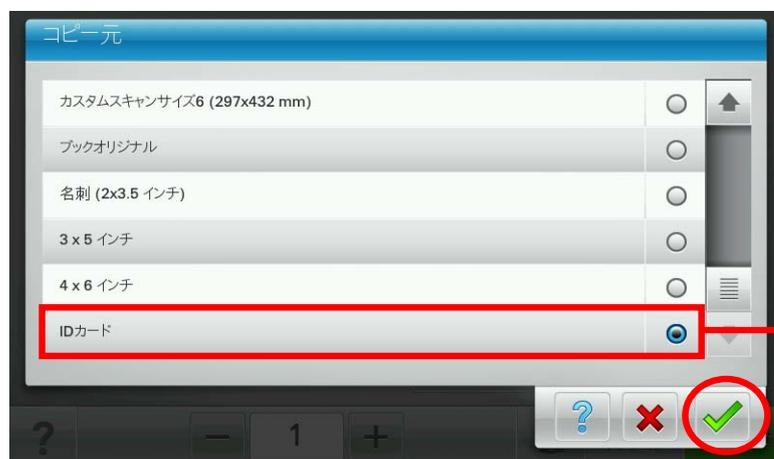


12項目の詳細設定を選択・設定することが出来ます
 (画面上は9項目のみ表示。右上下キーでスクロールし選択)

表と裏をそれぞれスキャンし、1枚の用紙に並べて印刷できます。
(2回スキャンして、紙は1枚のみ使用=用紙のムダ削減)

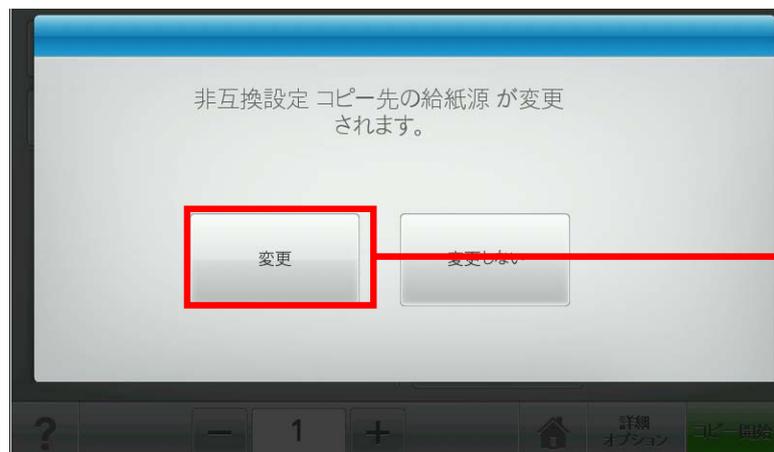


「コピー元」をタッチ



「IDカード」を選択チェック

※注:
「IDカード(297×432mm)」は選択しない



「変更」を選択



コピー元が「IDカード」に変更

コピー先は1段目が初期値
 (コピー先は選択・変更可能)

文字の大きさは変更せず、大きな用紙へコピーしたい

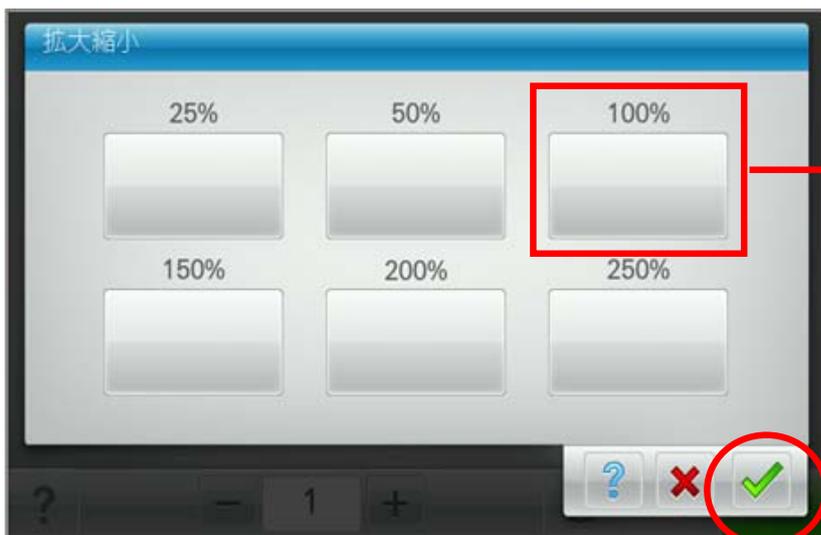
X925deでは原稿サイズから違うサイズへコピーする場合、“拡大縮小”が自動で実行されますので、等倍コピーの場合は以下の操作を行ってください。



①原稿のサイズを選択

②コピーしたい用紙サイズを選択

③印刷倍率の変更



④「100%」を選択

⑤チェックをタッチしてコピー初期画面へ



⑥「コピー開始」で実行

※コピー先での印刷方向は設定では指定できません。

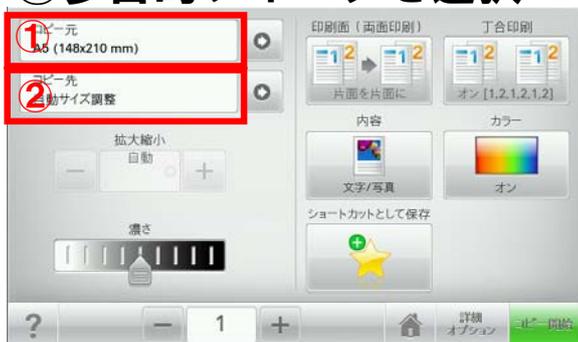
※「コピー先の用紙上半分に印刷する」場合は次ページを参照ください。

原稿の2倍の用紙上半分に印刷し下半分を余白としたい。



※下記操作では1枚ごとの操作となります。

- ①原稿のサイズを選択
- ②多目的フィーダを選択



- ③原稿と同じサイズを選択
- ④印刷する用紙の紙種を選択



- ⑤多目的フィーダに用紙を横置きにセット



- ⑥「コピー開始」で実行



- ⑦終了する場合は「ジョブを終了する」押す



- ⑧「ジョブキャンセル」で終了 (コピー初期は画面に戻ります)

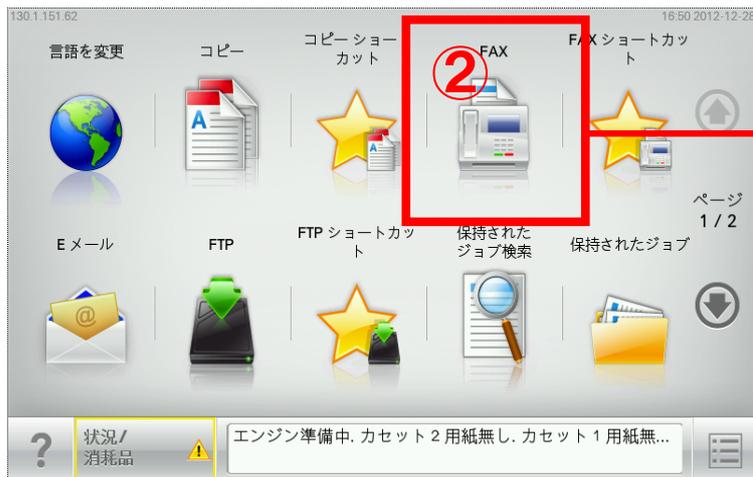


X925de

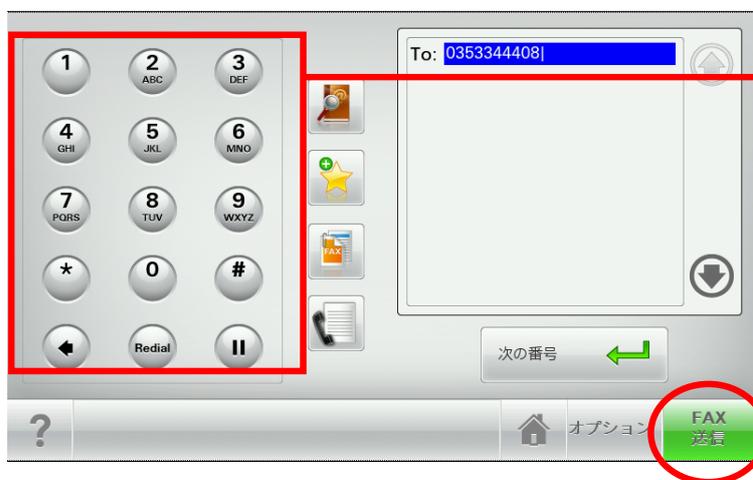
簡易操作マニュアル

【FAX編】





「FAX」を選択

FAX番号を10キー
で入力

FAX送信実行

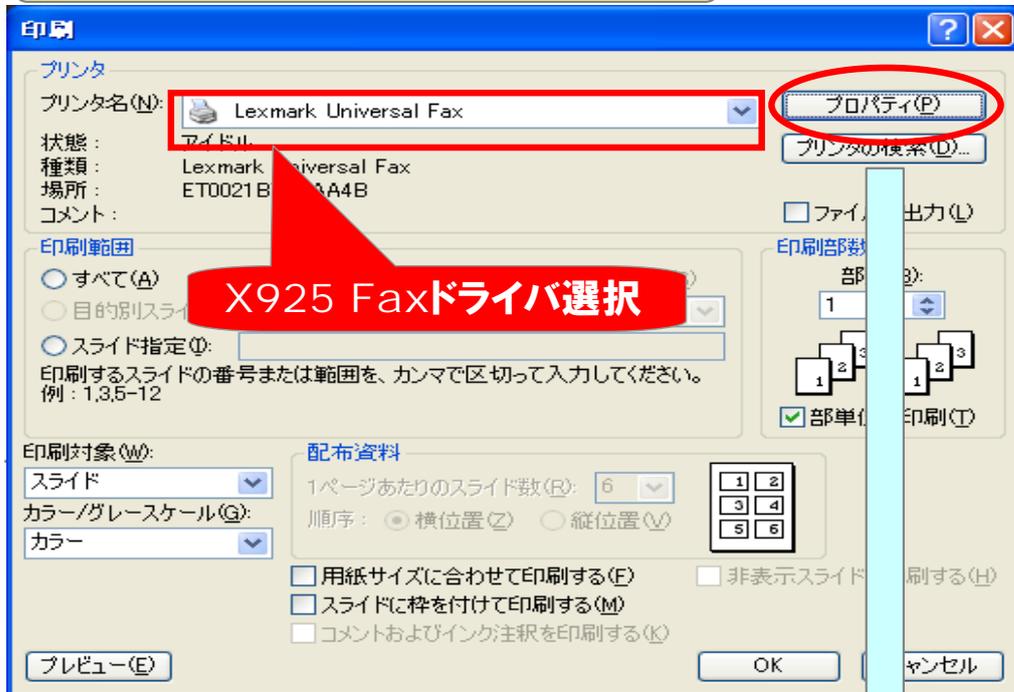
便利な機能

FAXショートカットを作成すれば、FAX番号入力の手間を省けます

FAXショートカットキーを作成
タッチすると電話(FAX)帳を表示
検索して送信先を設定
※電話帳は事前に作成が必要です

パソコンからX925を経由して外部へFAX送信する機能 (PCからプリンタへ印刷する要領で相手先にFAX)

X925 FAXドライバ画面



パソコンのアプリから

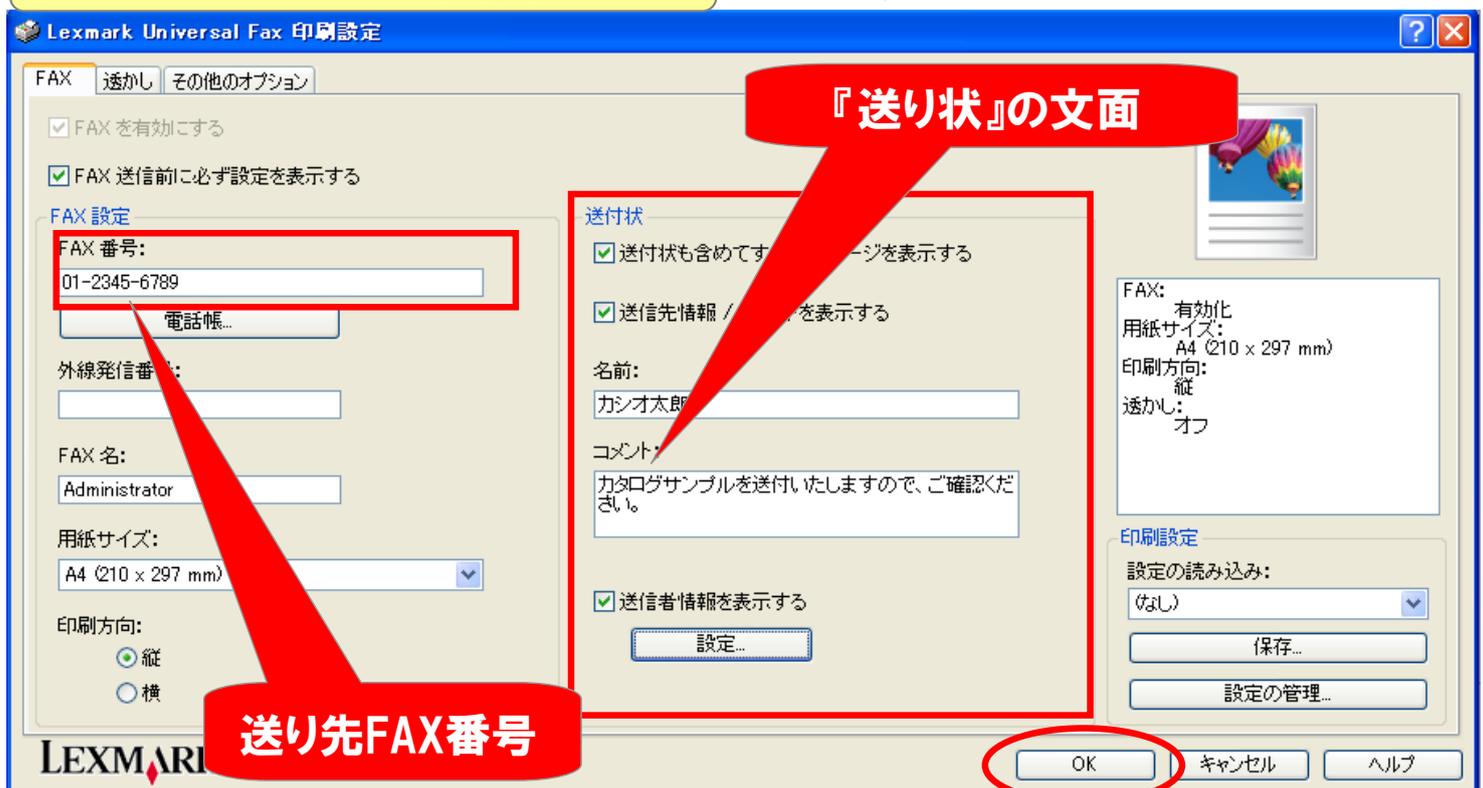
↓
印刷

↓
X925

FAXドライバ選択

↓
プロパティを開く

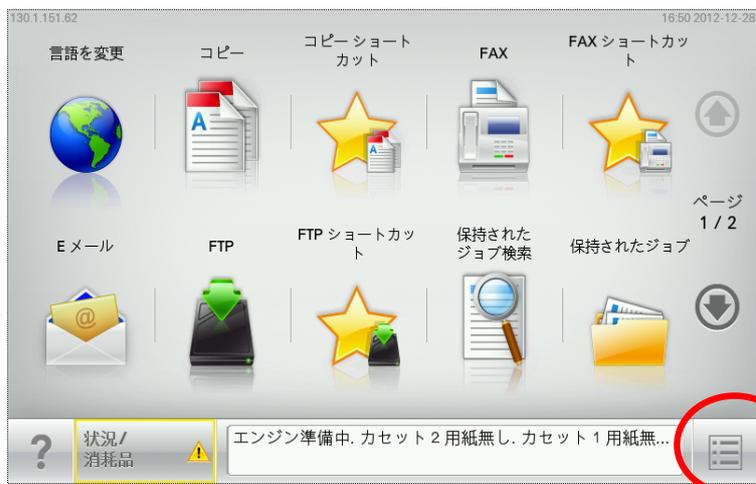
プロパティ画面



「OK」で送信

FAX受信(印刷用紙)

送信側(スキャニング)の用紙と同じサイズで出力したい



「メニュー」ボタン

「設定」

「FAX設定」

「アナログFAX設定」

「FAX受信設定」



自動縮小:「オフ」を選択

送信実行

(設定内容をメモリに送信)

送信側スキャンデータ		印刷用紙
A4未満の用紙サイズ (B5、A5など)	➔	A 4 用紙で印刷
A4用紙サイズデータ		A 4 用紙で印刷
B4用紙サイズデータ		B 4 用紙で印刷
A3用紙サイズデータ		A 3 用紙で印刷

※送信側のスキャニング状況により、データにサイズが異なる場合があります。
 ※FAXの規格でA4以下はA4サイズで送信することになっています。

アナログ1回線上にX925deと固定電話機を接続した場合、X925de単独ではFAX受信と電話着信の自動切換えが出来ません。そのため、X925deパネル操作(手動切り替え)によるFAX受信が必要となります。

- (1)メニュー>「設定」>「FAX設定」>「アナログFAX設定」>「一般FAX設定」で「手動FAXを有効化」を“オン”にします。

メニュー > 設定 > FAX 設定 > アナログ FAX 設定 > 一般 FAX 設定

発信電話番号	←	ステーション番号	→	↑
手動FAXを有効化	←	オン	→	
メモリの使用	←	均等	→	
FAXをキャンセル	←	許可	→	
FAX番号のマスキング	←	オフ	→	↓

? 戻る 送信

手動FAXを有効化
「オン」にする

- (2)メニュー>「設定」>「FAX設定」>「アナログFAX設定」>「FAX受信設定」の「呼び出し回数」で任意の数字を選択。
※この回数に達するとFAX受信を開始します。(デフォルトは3回)

メニュー > 設定 > FAX 設定 > アナログ FAX 設定 > FAX 受信設定

FAX受信を有効化	←	オン	→	↑
発信者番号を有効化	←	オフ	→	
FAXジョブ待機中	←	なし	→	
呼び出し回数	←	3	→	
自動縮小	←	オフ	→	↓

? 戻る 送信

呼び出し回数
の設定

FAXの手動受信操作

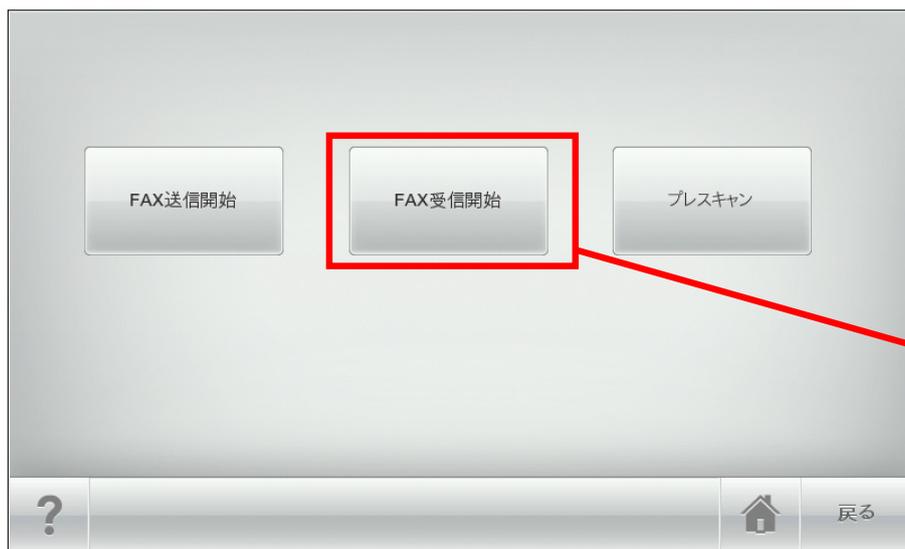
- (3) 設定終了後、手動でFAX、電話を切り替えます。
電話着信時、固定電話に出てFAX受信音を確認します。
(X925deでは、電話着信時もFAX受信時も、
同じように電話が鳴ります)
- (4) 本体パネルのFAXアイコンを押すと下記の画面になります。
FAX受信時は、下記黒い受話器のアイコンが出現します。



黒い受話器

- (5) 黒い受話器アイコンを押し、下記の画面に切替わったら、
“FAX受信開始”ボタンを押し、FAXを受信します。

このときに受話器を切ってもFAXラインは切れません。FAX受信設定で、
「手動FAXを有効化」をオフにしますと黒い受話器のアイコンは消えます。



FAX受信開始

※上記(4)で本体パネルのFAXアイコンを押さずに、本体の
数字ボタンを[#]、[0]の順に押しても“FAX受信開始”ボタン画面は出ます。

X925de

簡易操作マニュアル

【スキャン編】

USB ドライブ



ネットワークへのスキャン



Eメール



USBメモリへスキャン①

スキャンしたデータを、直接USBメモリに保存できます。



X925 **全面右上**へUSBメモリを挿入

本体にUSBを差し込むとUSBドライブ画面が立ち上がります

USBメモリ内の表示可能なデータ(PDF等)はプレビューで表示されます



「USBへのスキャン」をタッチ

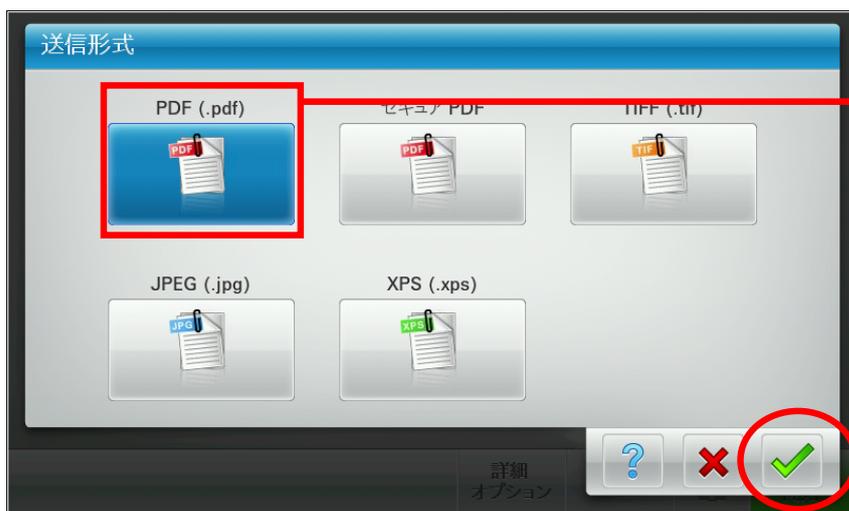


- ①保存するファイル名の設定
- ②保存データの用紙サイズ設定
- ③スキャン解像度設定(75dpi~600dpi)
- ④濃度調整レバー
- ⑤保存データの形式選択 ⇒14ページ詳細説明
- ⑥保存データのカラー・モノクロ選択
- ⑦保存データの片面・両面、縦横の選択 ⇒15ページ詳細説明
- ⑧スキャンデータの媒体内容の選択
- ⑨スキャン実行ボタン

送信(保存)形式の設定



「送信形式」を選択



保存する
ファイル形式を選択

- PDF
- セキュアPDF
- TIFF
- JPEG
- XPS

選択後、チェック



最初の画面に戻り
スキャン実行



スキャンデータが
プレビューで表示



「ページ設定」を選択



保存するページの形式を選択

- ・片面or両面
【両面選択の場合】
長編とじor短編とじ
- ・縦長or横長

選択後、チェック



最初の画面に戻り
スキャン実行



スキャンデータが
プレビューで表示

スキャンしたデータを、Eメールで送信できます。



「Eメール」を選択



- 送信先
- 件名
- 本文
- ファイル名の入力

送信実行

便利な機能

Eメールショートカットで、アドレス入力を省略



Eメールショートカットキーを作成
タッチすると

メールアドレス帳を表示
検索して送信先を設定
※アドレス帳は事前に本体に作成が
必要です

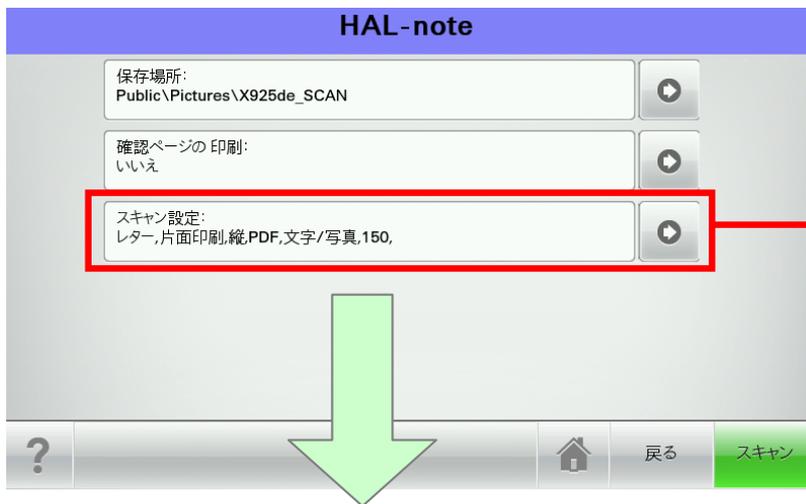
スキャンしたデータを、指定のパソコンに格納できます。



「ネットワークへのスキャン」を選択



送信先のPCを選択
※PC保存先は事前に登録



保存データの詳細設定



- ①保存サイズ
- ②保存形式
- ③カラー/モノクロ切替
- ④内容設定

スキャン実行

X925de

簡易操作マニュアル

【プリント編】

USB ドライブ



USBメモリに格納したデータを、直接印刷することができます。



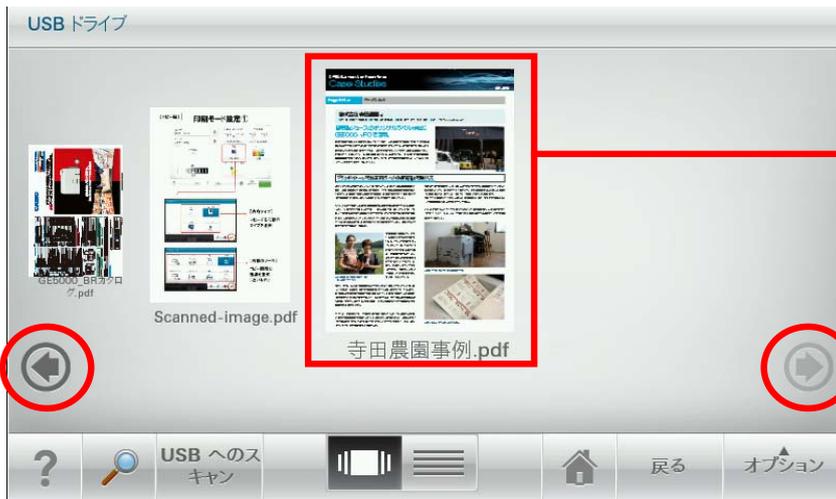
X925右全面へUSBメモリを挿入

印刷できるファイルフォーマット

- ドキュメント: pdf、xps
- 画像: dcx、gif、jpg、bmp、pcx、tif、png

本体にUSBを差し込むとUSBドライブ画面が立ち上がります
印刷可能なデータはプレビューで表示されます

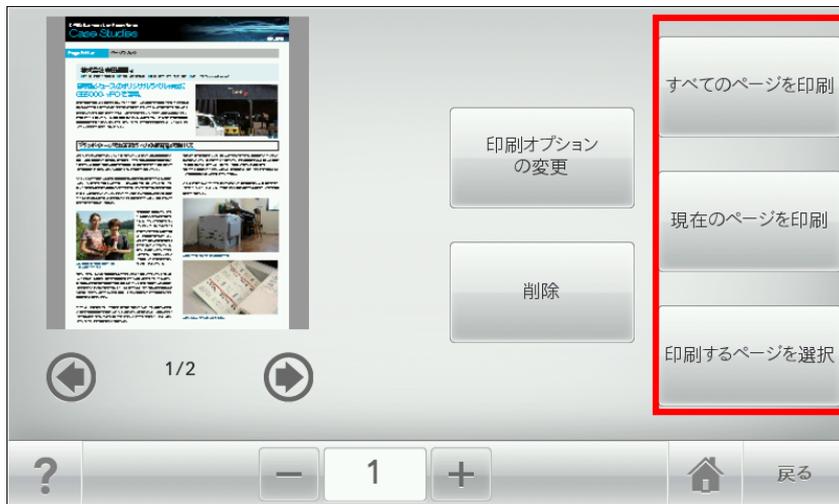




スクロールして印刷
したいデータを選択

便利な機能

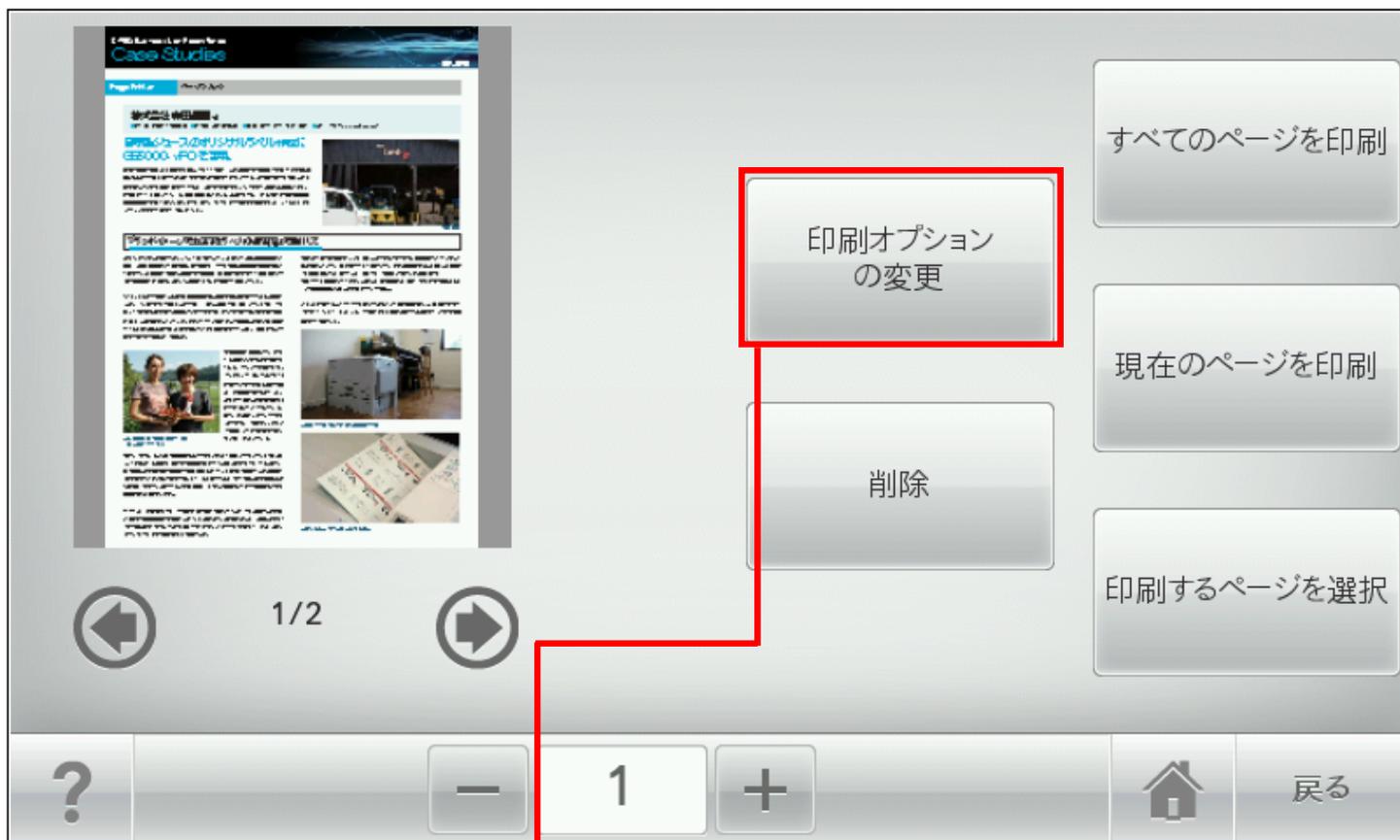
画面左右下の矢印ボタン   でもスクロールできますが、
スマートフォンのように画面をフリックしてスクロールも出来ます。



印刷する範囲を選択

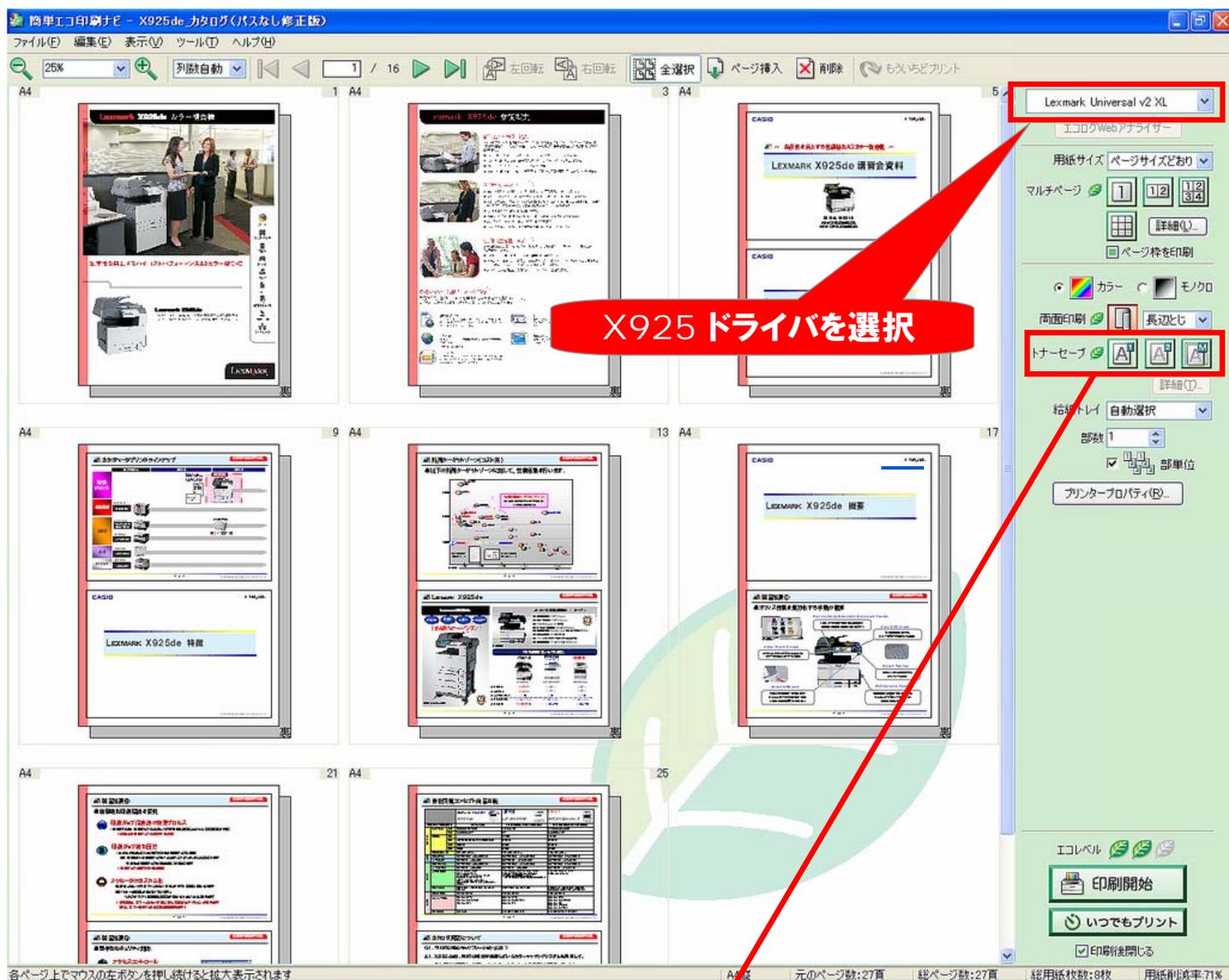


印刷実行



**印刷用紙サイズと9項目の詳細設定を
選択・設定することが出来ます**
(画面上は詳細設定6項目のみ表示。右上下キーでスクロールし選択)

X925で「簡単エコ印刷ナビ」がご利用いただけます



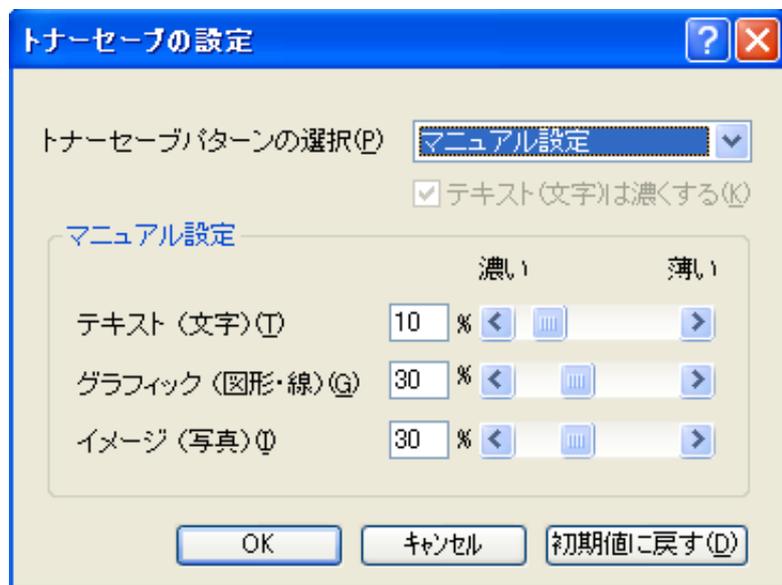
新トナーセーブを使用できます

X925の本体トナーセーブは
5段階設定のみ

「エコ印刷ナビ」を使うと

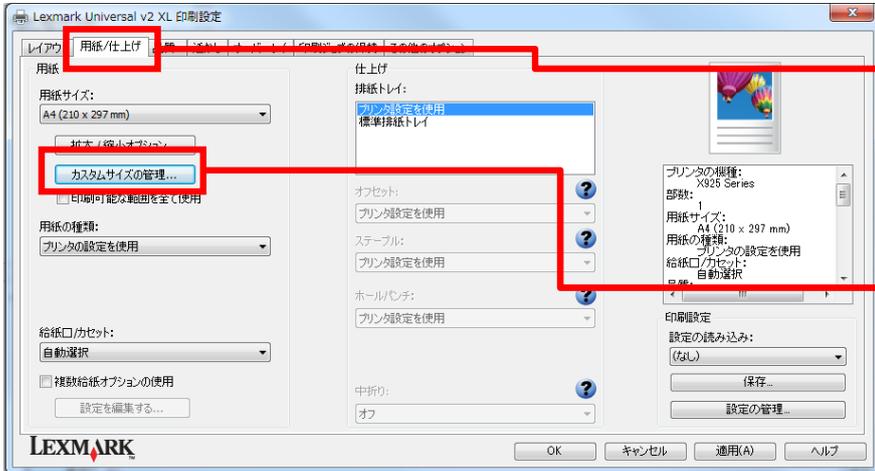
- ・テキスト(文字)
- ・グラフィック(図形・線)
- ・イメージ(写真)

それぞれを1%刻みで
トナーセーブできます。



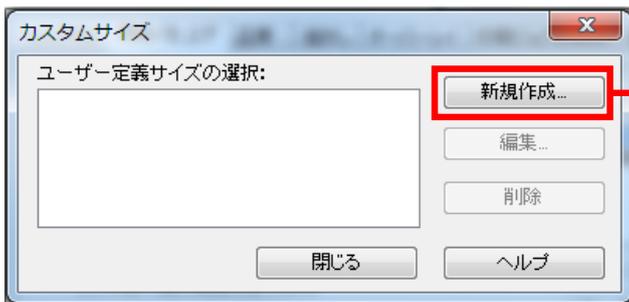
はがきの印刷 (用紙サイズ登録)

「はがき」、「往復はがき」は事前の用紙サイズ登録が必要です。

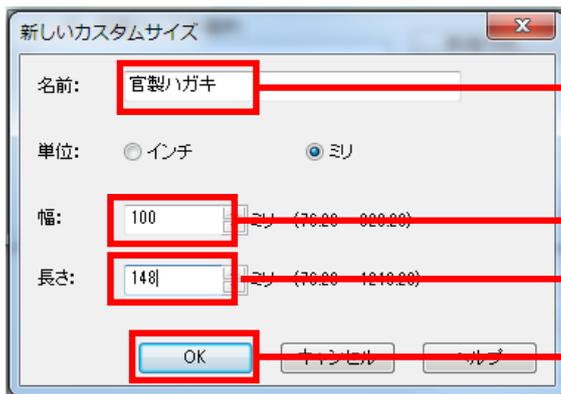


「用紙/仕上げ」タブを選択します。

[カスタムサイズの管理] ボタンをクリックします。



[新規作成] ボタンをクリックします。

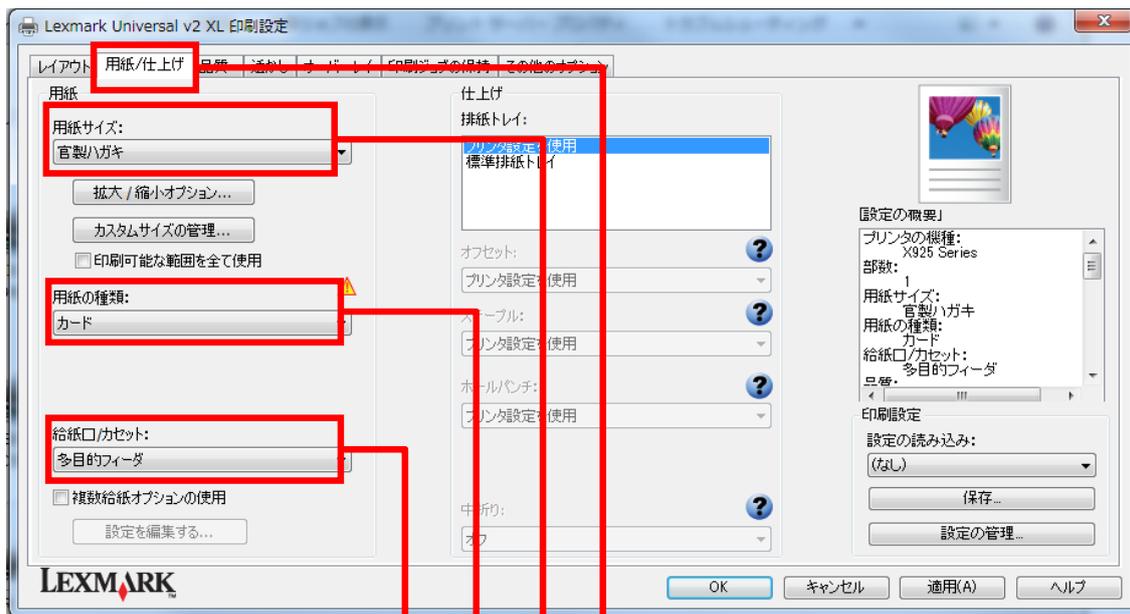


用紙の“名前”を入力
用紙の“幅”を入力
用紙の長さ

全て入力完了にて [OK] ボタンをクリックします。

入力例：
名称：官製はがき

幅：100
長さ：148



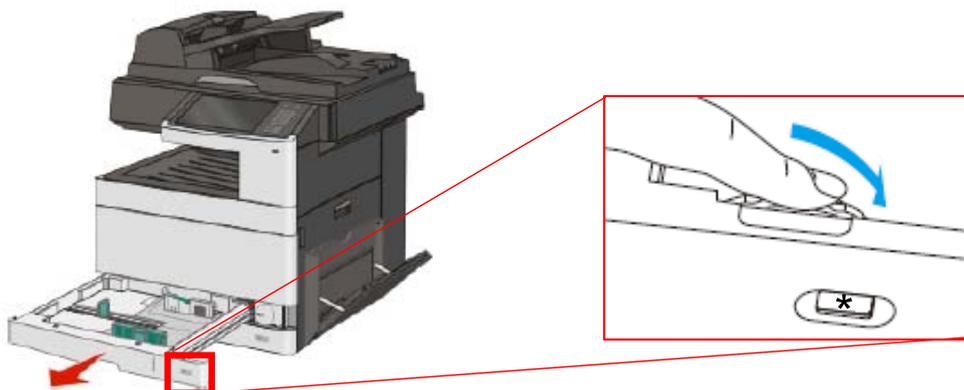
「用紙/仕上げ」タブを選択

用紙サイズ：
「官製ハガキ」(はがきサイズを登録した名称)

用紙の種類：
「カード」

給紙口/カセット：
「多目的フィーダ」または「カセット1」

※「カセット1」をご利用ななる場合：
「カセット1」の用紙サイズダイヤルを“*”に合わせてご利用ください。



最終ページ